

社員が成果を出せる 自律型組織づくり

株式会社大東技研

工場長

堀口 一也

波多野 亘

中川 朋香

磯野 義治

- ・ DAÏTÔ 概要
 - ・ アドバイザー派遣前の私たち
 - ・ これまでの DAÏTÔ のDX推進活動
 - ・ 今回の DAÏTÔ の取り組み内容
 - ・ AFFの策定とMATへの挑戦
 - ・ 伝えたいこと
-

DAITÔ 概要

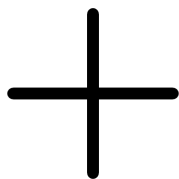


HPはこちらから



アドバイザー派遣前の私たち

成果を
出せていない



人のDX化が
できていない



他社員と共有できていない



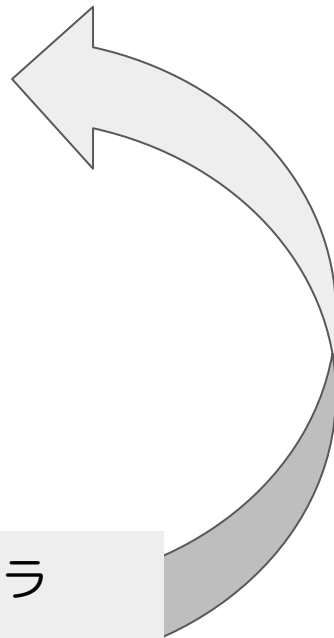
課題が見つけれられない



施策に導けない



- ・ 全社員の課題に対する認識がバラバラ
- ・ 根本的な問題解決とならず再発生



これまでの
DAITÔ のDX推進活動

機能が把握できない

全社での使い方

えっ・・・？

「DX」を推進する考え方

課題分析と整理方法

システム導入後の 扱い方がわからない...！

課題が表層的？

???

知識やデータの扱い方

理想

機器やシステムの導入で
課題解決、DX推進ができるはず！



現実

- ・ 課題解決や、DX推進が中途半端
- ・ システムに使われている状態
- ・ ベストな活用方法がわからない



**DX型企业への変革
(システムを使う側へ)**

他律型

- ・ 「忙しいから出来ない」と優先度を下げる
- ・ 行動に移せない
- ・ 何から手をつけていいかわからない



目指す自律型

- ・ 自ら答えを出せる / 自ら動いて行くための考え方
 - ・ 課題が整理できる
 - ・ 計画が立てられる
-

今回の
DAITÔの取り組み内容

現状の問題
課題整理



真の課題

A sunburst graphic consisting of several yellow rectangular rays of varying lengths, radiating from behind the text '真の課題'.

生産効率の向上

項	記入日	記入者	重要度	4MI	大分類	中分類	課題
例	2022/10/16		5				
1	2023/1/13			方法	計画		作業する為に正確な予定が必要
2	2023/1/13			方法	作業		初回品整備の明確化
3	2023/1/13			情報	システ		情報連携する必要がある(人、物、設備)
4	2023/1/13			方法	作業		ポカミス削減
5	2023/1/13			人	計画		時間通りに生産する
6	2023/1/13			情報	計画		
7	2023/1/13			人	作業		生産効率の向上
8	2023/1/13			人	作業		
9	2023/1/13			機械	現場		初回品の治具制作
10	2023/1/13			情報	システ		進行状況の把握
11	2023/1/13			方法	計画		受注を増やす

洗い出した課題数→48件！
かかった時間→約70時間！

(課題リストより抜粋)

生産効率の向上（プログラム）

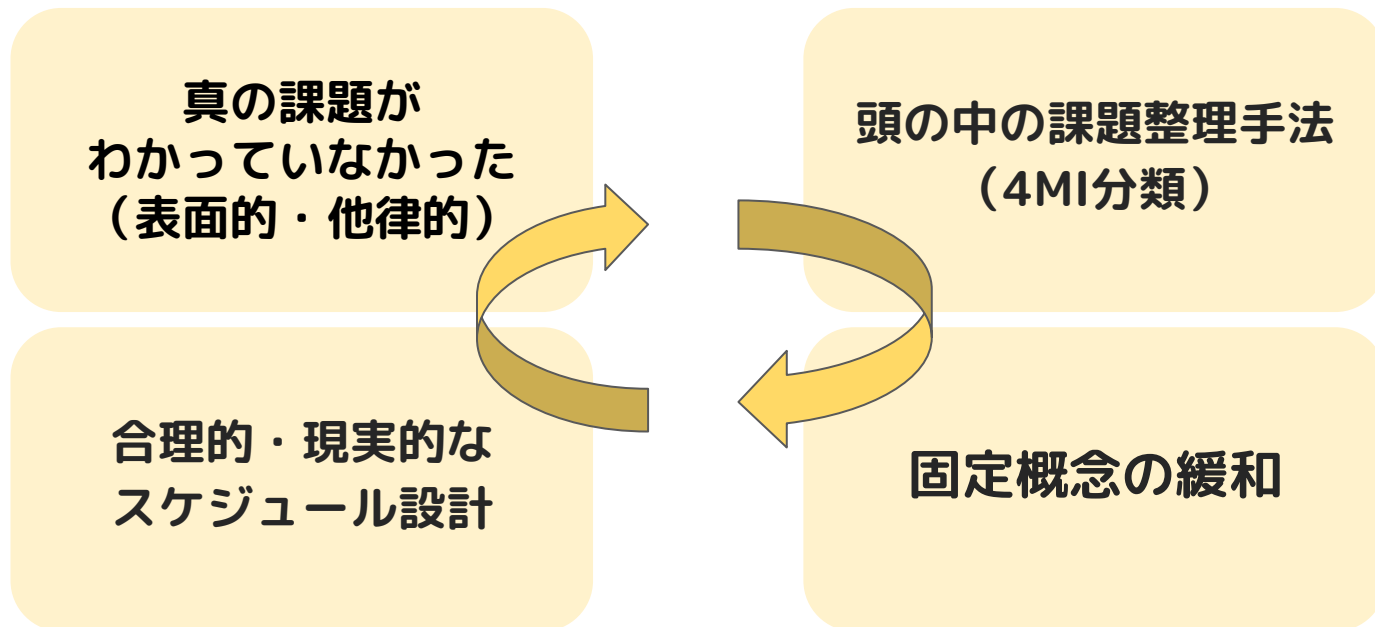
マシニング加工用プログラムの教育

項番	4MI	グループ	課題	施策	施策詳細
1	人	人財マップ	時間通りに生産する（人視点）	人財マップを作成し、不足している要素技術を明確にし教育スケジュールを作成する	人財マップ→レベリング→不足要素技術の明確化→教育スケジュール
1	人	工数集計ツ	時間遅れの発生原因を把握する	時間遅れの発生原因を把握する	時間遅れのチェック機能を追加
2	人	教育	生産効率の向上（プログラム）	マシニング加工用プログラムの教育	
2	人	手順書作成	加工手順書の作成	加工手順書の作成	項40にて定義
3	人	治具管理	無駄を省く	治具の仕様管理の仕組み構築	システム化検討
4	人	教育	マシニング機械操作の使い方教育	教育スケジュール、操作マニュアル作成	
5	人	教育	マシニング加工の教育	教育スケジュール、加工手順書改版、マシニング加工技術書作成	
6	人	教育	マシニング専用治具の使い方教育	教育スケジュール、使用マニュアル作成	
8	方法	マスタ整備	作業する為に、正確な予定が必要	作業細分化マスタ整備	作業内容+想定工数+設備+治具
9	方法	手順書作成	初回品整備の明確化	初回品運用手順書作成	初回品要素チェックリストを作成し、それ別に手順書を作成する。
11	方法	マスタ整備	受注を増やす	技術レベルの向上	技術レベルの高い人の作業を言語化、文章化する（当たり前の事も）

48件の施策策定！
かかった時間→約70時間！

（施策リストより抜粋）

4つの学び



2つの気づき

遠回りしていた...

課題の掘り下げ方

AFFの策定と MATへの挑戦

AFF

Activity For the Future

全社員の問題認識・課題認識へ

①加工実績時間から**利益確認・損益状態の見える化**

②**仕様書・マニュアル・研修等**を出来るように組織改革

③人・物・場所など**所在情報の明確化**

支援内容

- ① レールの敷き方
- ② 自走可能な状態へ
- ③ レールの敷き方・
手段の指南



気づき

- ① 優先度
- ② 人のDX化

MAT

Method (工程)

Accumulation (収集)

Tools (ツール)

素人の私たちが
作れる？



出来たら面白い
けど・・・

既成の

クラウドサービスが
使いこなせない

アナログ方式

工程表(紙)に
作業実施時間を記録
→算出に手間と時間

1	2	3	4	5	6	7	
処理 a,u,d	更新日時 last_datetime	作業日 work_day	作業者 work_user	製品名 product_name	作業名 work_name	予定開始日時 scheduled_start	予定終了日 scheduled_end
	20230108141900	2023051		A004	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A003	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A001	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A004	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A003	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A009	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A001	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A002	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A003	測定	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A003	測定	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A002	段取り	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A000	手仕上げ	20230316100000	20230316
	20230108141900	2023051		A002	加工	20230316100000	20230316

管理画面

読込 : 20230510180815

作業日 20230510

メニュー

A001 段取り	開始予定 : 10:00 開始実績 : 無し	終了予定 : 11:00 終了実績 : 無し
A000 手仕上げ	開始予定 : 10:00 開始実績 : 無し	終了予定 : 11:00 終了実績 : 無し

社員確認画面

カスタマイズ

デジタル方式

実績蓄積

まとめ

環境整備

人材確保

伝えたいこと

社員が成果を出せる
自律型DX組織づくり

終わりに
